

自転車利用実態定点調査報告

平成27年2月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の参考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年1月23日
[午前]7:50~8:40

調査場所 東京学芸大学附属高校(共学・世田谷区)
概 要 調査対象(高校生の自転車通学実態)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車通学実態調査結果概要						
項目番号	走行空間	年齢	性別	危険運転行為	危険運転行為	危険運転行為
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

調査日時： 平成 令月 日(月) 時
天候： 晴
調査時間： ~

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、左側車道走行率は、66%と約7割の結果であった。
なお、右側車道走行率は、19%・路側帯走行率は、15%であった。

◎危険運転行為は、過積載(10件)・ハンドルに荷物(8件)・肩に荷物(4件)の順となっている。

【総合】

今回の調査は、引き続き、高校生の自転車通学の実態を調査したものであり、一般の人と比較して高校生が自転車のルール・マナーを遵守して利用しているかの判断基準となりうるものである。

同校の生徒においては、かなり左側通行者(全体の約7割)が多く、次いで右側通行者・歩道通行者と続いていた。

校門前に緩やかな勾配があるため直前の立ち漕ぎが多かった。

(基本的に立ち漕ぎは、危険運転行為に該当するが、現況から止む無しと判断して、今回は、除外する)

因みに、同校での自転車通学の割合は、全校生徒(総数1043人)の15%程度である。

校内には、駐輪場が1ヶ所整備(総収容台数150台)されていた。

なお、校門直前での左右や後方確認をしている生徒は、皆無であった。

同校の登校時間(8時30分)直前5分前後には、多数の生徒が校門を目指す状況となっていた。

なお、登校時間を過ぎても一部の生徒が、自転車通学をしていた。

今回、自転車通学用の校門は、1箇所だけ存在していた。

そのため、生徒は、左右方向から校門を目指す状況だが、圧倒的に左側からの生徒が多かった。

理由は、特にないことである。

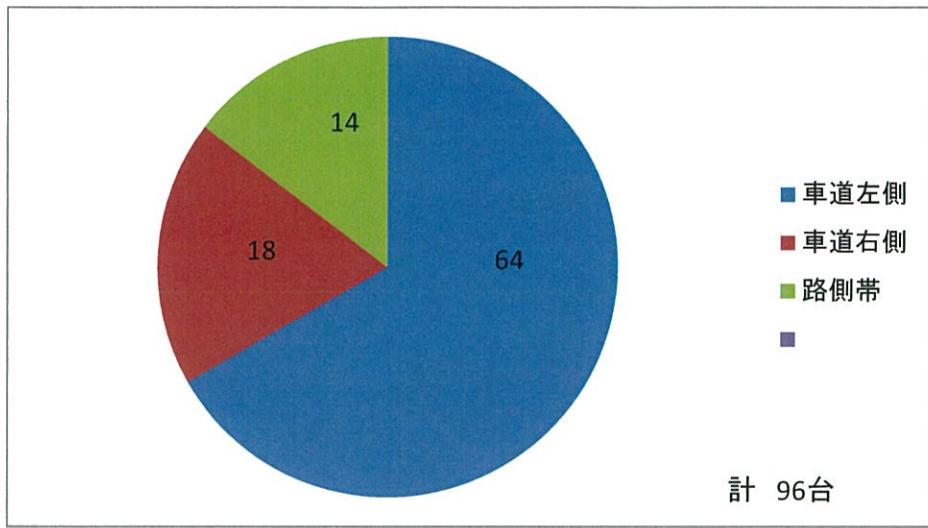
同校での自転車通学の条件は、自宅から学校までの経路のみ許可(ステッカーの貼付)しており、最寄駅の学芸大学駅(徒歩15分)や三軒茶屋駅(徒歩20分)からの自転車通学は、許可していない。

なお、定期的にステッカーの貼付について確認しており、貼付されていない場合は、保護者への指導を行うことである。

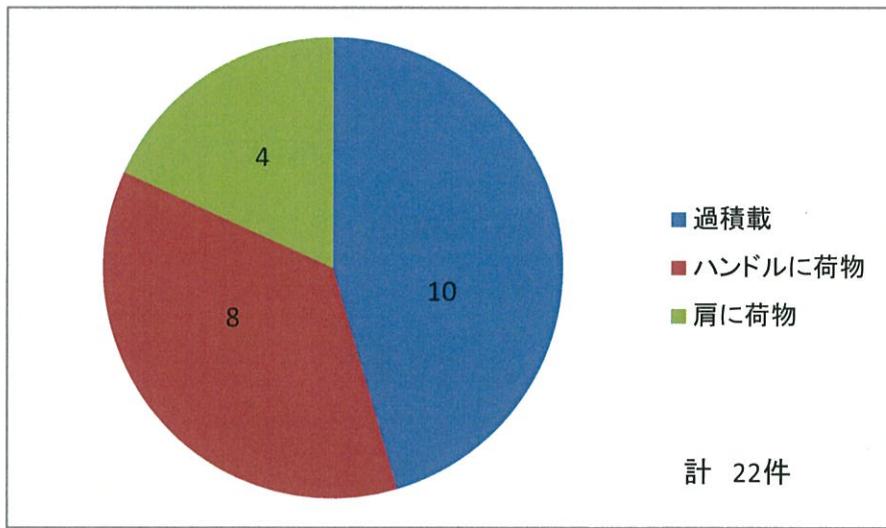
また、車種制限については、特に行われておらず、スポーツ車や小径車等で通学している生徒もいた。

因みに、同校では、教諭による自転車通学の指導は、特に行われていなかったが、交通安全啓発の一環として、年に1~2回程度、世田谷警察署より配布される交通関係のパンフレットを全校生徒に配布している。



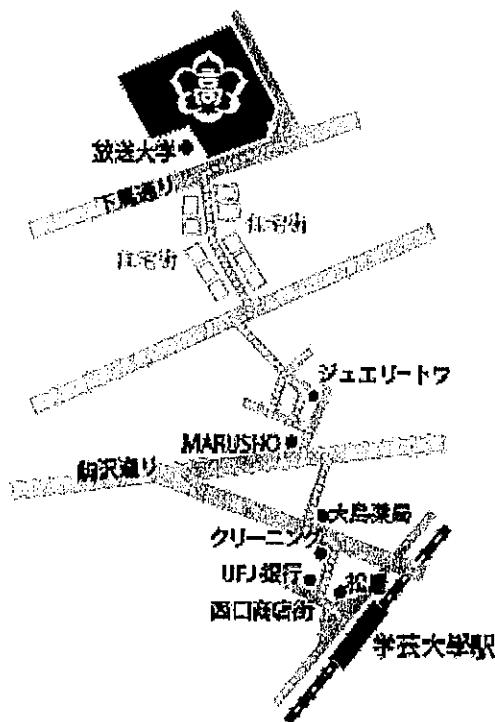


走行空間

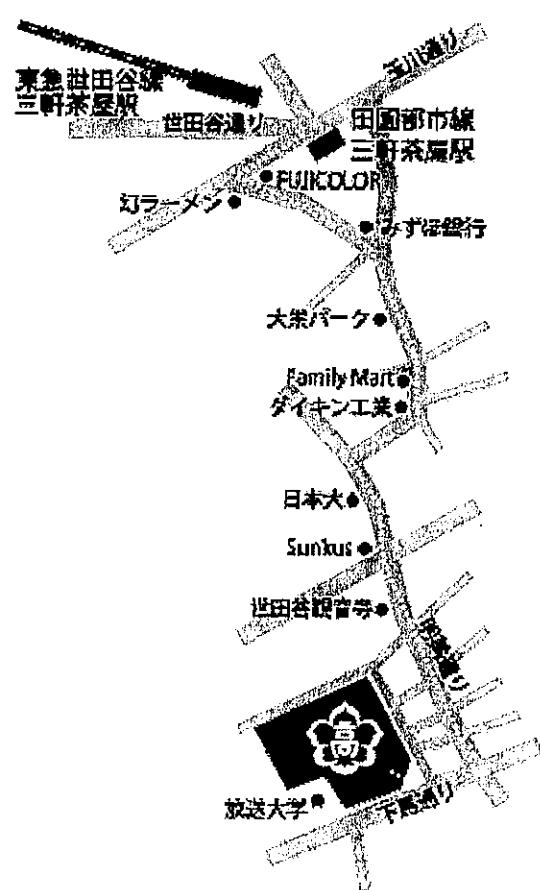


危険運転行為

学芸大学駅からのアクセス



三軒茶屋駅からのアクセス



東京学芸大学附属高等学校 Copyright (C) 2011 - 2015 Tokyo Gakugei University Senior High School. All Rights Reserved.